

令和6年度 基本施策評価シート

作成日

令和6年6月12日

基 本 施 策	G3	スポーツ・レクリエーションの振興を図ります	
2025年度に めざす姿	対 象		意 図
	市民が		いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ・レクリエーションに親しんでいる。
第五次総合計画[前期基本計画]基本施策掲載ページ			203ページ
基本施策主管課名	スポーツ振興課	関 係 課 名	中央総合事務所地域整備1課、中央総合事務所地域整備2課、生涯学習施設課、健康教育課、健康づくり課、スタジアムシティ連携推進室

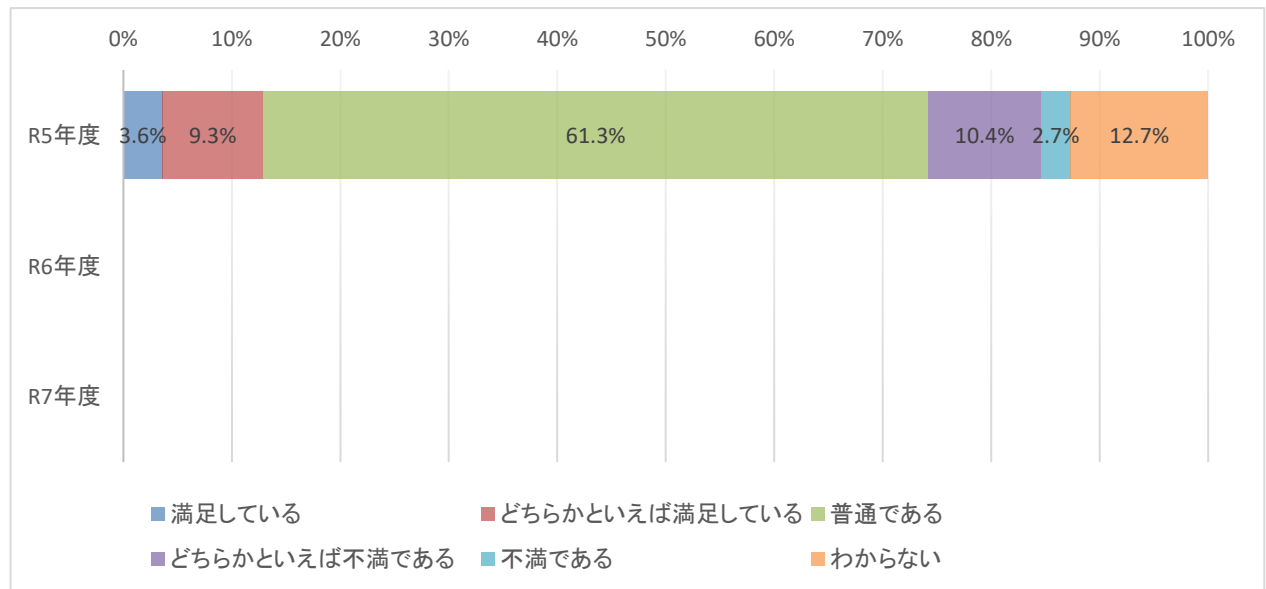
基本施策の総合評価

総括	●長崎市をホームタウンとするプロスポーツチームであるV・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカのホームゲームに市内の小中学生と保護者ペアを招待し、2025年度(令和7年度)の目標値(2,717件)を大幅に上回る8,940件の応募があり、スポーツへの関心を高めるきっかけづくりと両クラブに対する市民の応援機運の醸成を図ることができた。 ●新型コロナウイルス感染症の位置づけが、「5類感染症」に移行されたことに伴い、長崎ベイサイドマラソン等のスポーツイベントが通常どおり開催で実施でき、運動・スポーツ実施率は前年を上回った。 ●長崎商業高等学校テニスの夜間照明設備のLED化など適切なスポーツ施設の整備を行い、市営スポーツ施設の利用者数は前年より増加したが、基準値は下回っている。 ●市民満足度については、「不満である」及び「どちらかといえば不満である」と回答した人の割合が13.1%で、「満足している」及び「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合12.9%を上回る調査結果であった。 以上を踏まえ、今後の主な取組みは次のとおりとする。
G3-1	●市民参加型のイベントを開催することにより市民が気軽にスポーツに親しむことのできる機会を引き続き提供するとともに、効果的な情報発信を行う。 ●多くの市民がより身近に快適にスポーツに親しむことができるよう、施設の利用状況や利用者のニーズに応じたスポーツ環境の整備を行う。
G3-2	●令和6年10月に長崎スタジアムシティが開業予定であることから、地元プロスポーツチームの応援機運をさらに高めるための取り組みを行う。 ●競技団体や長崎市スポーツ協会等と連携し、ジュニア選手の強化を行うことにより将来的な高い競技力の実現を目指すとともに、新たにスポーツを始めるきっかけづくりにつながる事業を継続することでスポーツへの関心を高める。

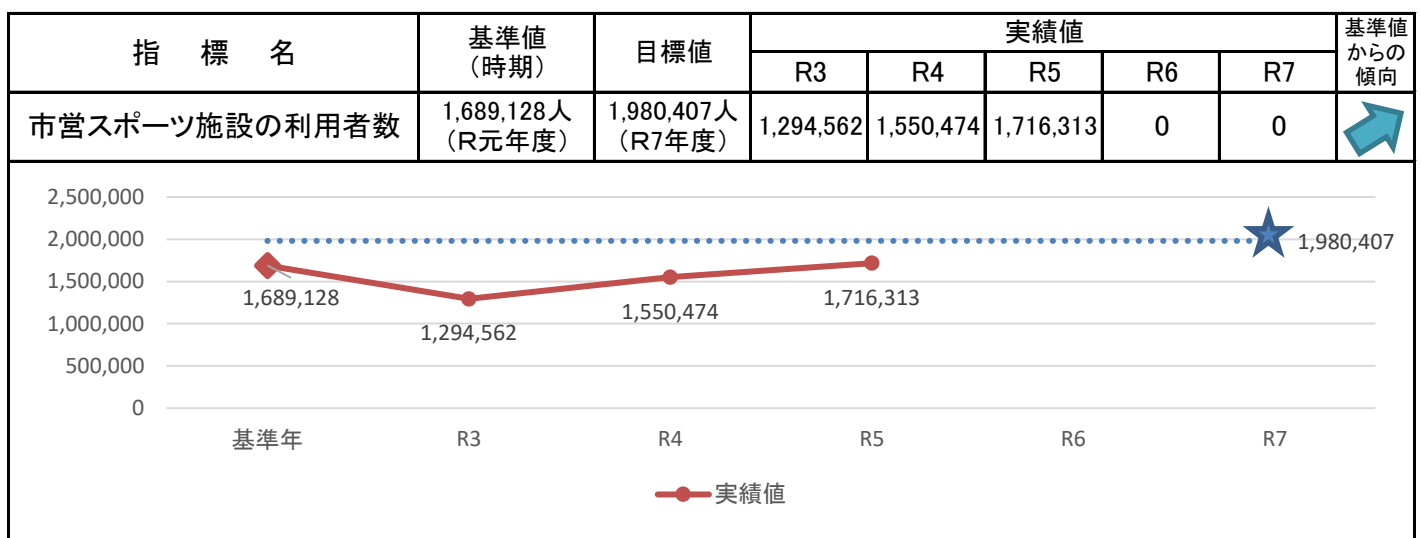
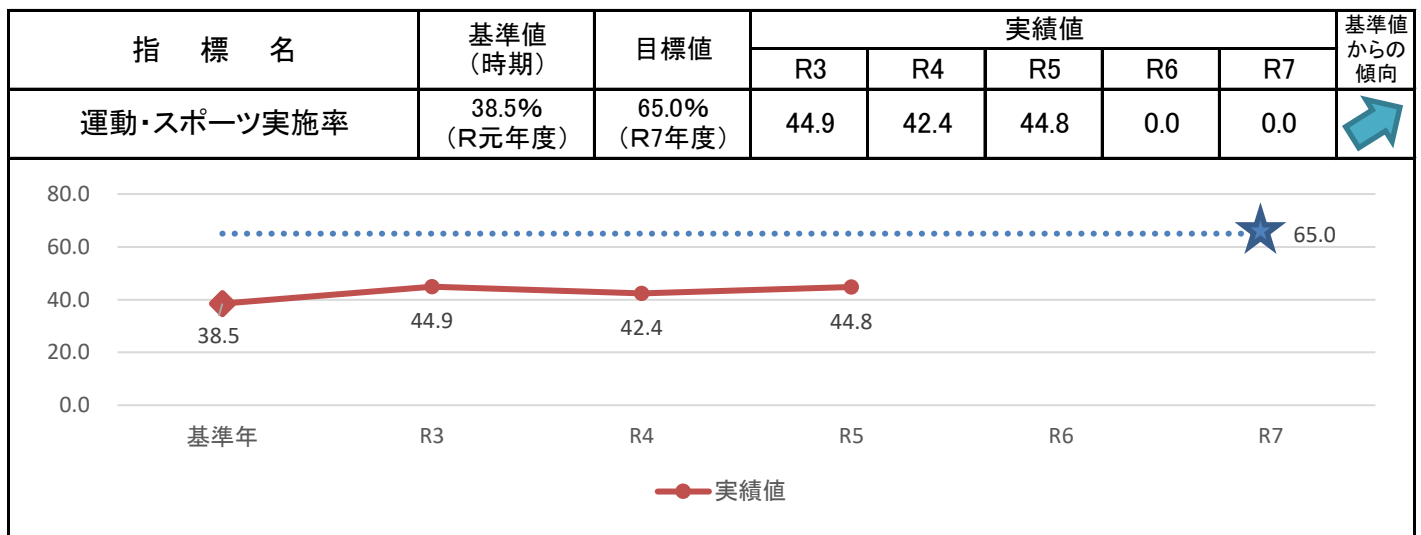
二次評価(施策評価会議による評価)

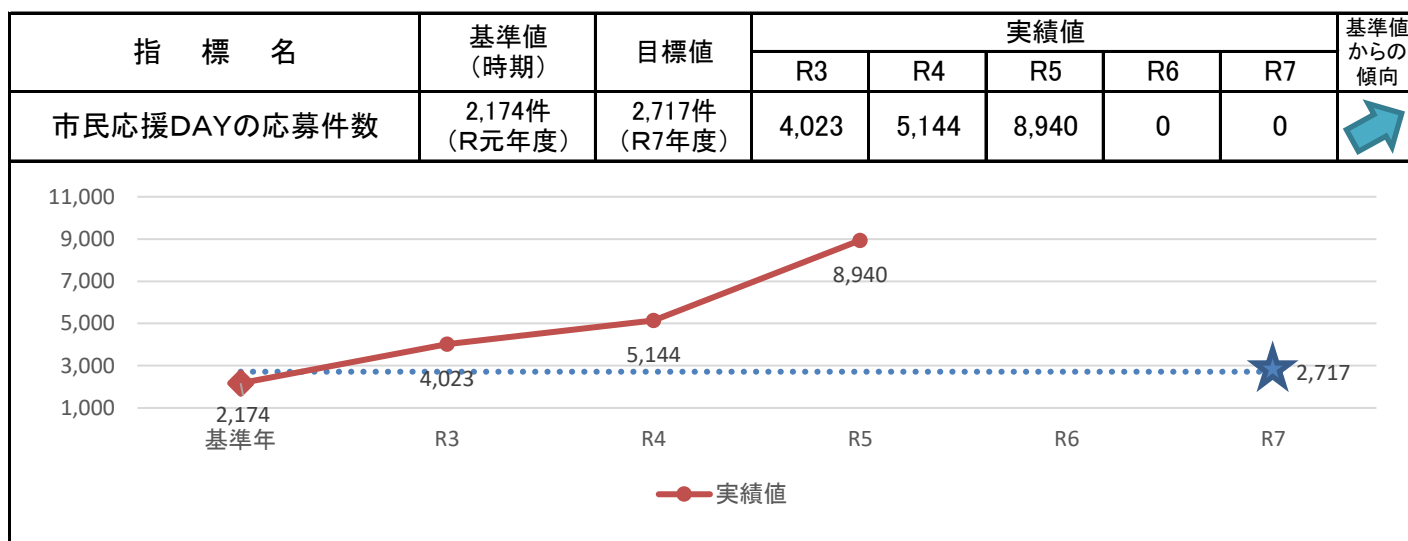
●	【G3-1】 「②スポーツ環境の整備」の「今後の取組方針」に、照明施設設備についての記載を検討すること。
●	【G3-2】 「①スポーツを通じた地域活性化」の「問題点とその要因」について、県の国体順位での記載となっているが、指導者不足など、市としての「問題点とその要因」が記載できないか検討すること。
●	【G3-2】 「①スポーツを通じた地域活性化」の「今後の取組方針」に「応援気運を高めるためにホームゲーム招待事業を拡大し」との記載があるが、「成果指標」はおおむね達成しているため、今後のどう取り組んでいくか検討してほしい。
●	【G3-2】 「②競技者の競技力の向上」の「成果」について、補助金の交付を行うことで、どのような効果につながるのか具体的に記載すること。

基本施策に対する市民満足度調査結果



成果指標





年度別 主な取組内容

R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
・スポーツイベントの開催(はじめてようスポーツ体験教室:1430人など) ・プロスポーツ招待事業(V・ファーレン長崎:3,200人など) ・競技力向上対策費補助金の交付(40競技、4,075,923円) ・ジュニアスポーツ競技力向上対策費補助金の交付(25競技、14,453,067円) ・体育施設の整備(西浦上中学校運動場夜間照明設備改修工事24,619,100円)	・スポーツイベントの開催(はじめてようスポーツ体験教室:1,507人など) ・プロスポーツ招待事業(V・ファーレン長崎:3,200人など) ・競技力向上対策費補助金の交付(43競技、4,758,000円) ・ジュニアスポーツ競技力向上対策費補助金の交付(26競技、14,487,760円) ・体育施設の整備(長崎商業高等学校テニスコート照明設備改修工事32,768,389円)		

令和6年度 個別施策評価シート

個 別 施 策	G3-1	スポーツ・レクリエーションをする場と機会の充実を図ります	
2025年度に めざす姿	対 象	意 図	
	市民が	日頃から、スポーツやレクリエーションに親しんでいる。	
個別施策主管課名	スポーツ振興課		

成果

① 各種競技団体等との連携

●市民が気軽にスポーツやレクリエーションに親しめるように、各競技団体や長崎市スポーツ協会等と連携し、市民体育・レクリエーション祭や新春駅伝大会等のスポーツイベントを実施したことにより、12,717人の市民の参加があり、「する」スポーツの振興につながった。

●スポーツやレクリエーションへの関心を高めるため、スポーツ少年団やスポーツ推進委員の活動を支援することで、地域でのスポーツを推進することができ、スポーツを「する」機会の提供につながった。

② スポーツ環境の整備

長崎商業高等学校テニスの夜間照明設備のLED化など施設の改修を行ったことにより、利用者が施設をより快適に利用することができた。また、市営体育施設や学校体育施設の貸し出しを行ったことにより、1,716,313人の市民が体育施設を利用し、スポーツに親しむ環境を提供することができた。

問題点とその要因

① 各種競技団体等との連携

競技団体や長崎市スポーツ協会等と連携し、市民体育・レクリエーション祭や長崎ベイサイドマラソン等のスポーツイベントを実施しているが、各種スポーツ・レクリエーションイベントへの参加者はコロナ前と比べると減少している。
また、スポーツ少年団やスポーツ推進委員についても、少子化や高齢化により団員数及び会員が減少している。

② スポーツ環境の整備

スポーツ施設については、立地条件や競技人口の違いなどにより利用状況に差があるとともに、老朽化が進む施設などもある。

今後の取組方針

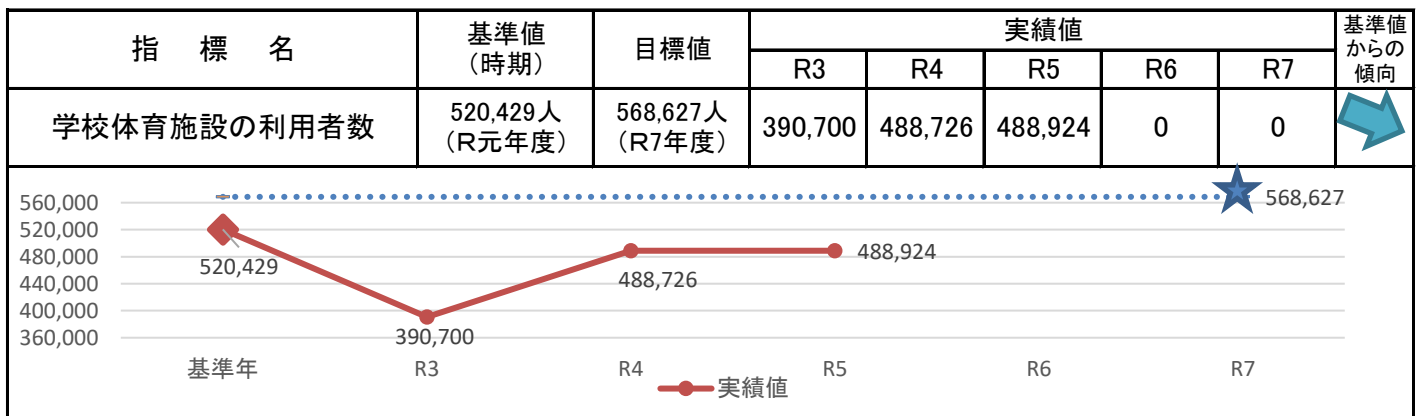
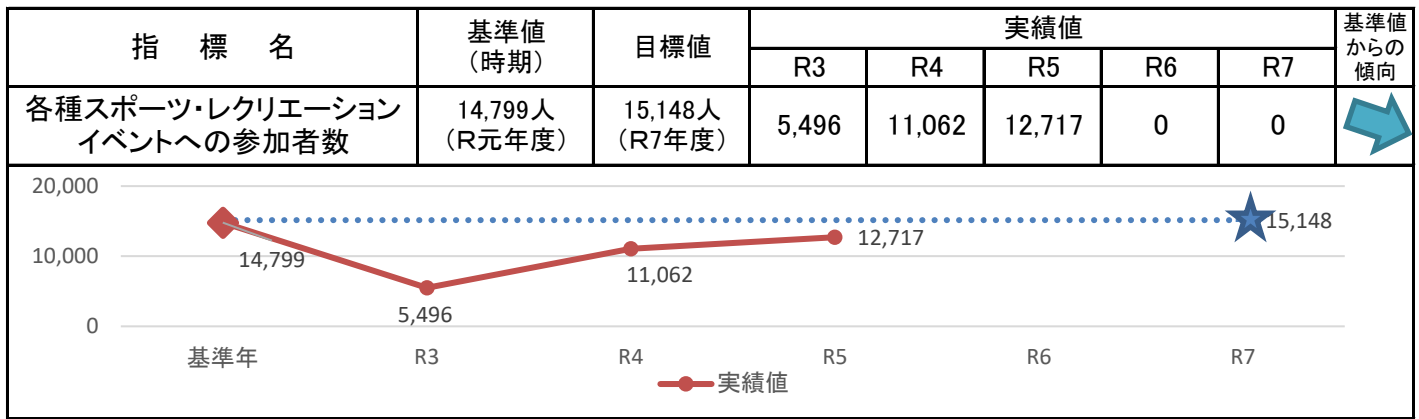
① 各種競技団体等との連携

新規
市民が気軽にスポーツに親しむことのできるニュースポーツなどの周知や、それを体験できる機会をより多く提供するとともに、スポーツ少年団やスポーツ推進委員の活動を推進することにより、地域において「する」スポーツの振興を図る。また、市民参加のスポーツイベント等の情報提供を効果的に行う。
併せて、令和6年度においては、市民提案型協働事業として、市民活動団体と協働し、ケガに対するサポート体制を整えとともに、指導者、保護者等を対象にケガの予防や事故発生時における対応に関するセミナーを開催し、市民が安心してスポーツを楽しむことができる環境を整える。

② スポーツ環境の整備

継続
●競技団体や競技者、市民などから幅広く意見を聴取するとともに、それぞれの施設の利用状況等の分析を行い、より多くの市民が身近で快適にスポーツに親しむことができるようスポーツ施設の再整備を行うにあたり、まずは、平和公園のスポーツ施設の再配置について幅広い関係者の参画のもと、利用者などの視点からの意見を聴きながら、再検討を進める。また、利用者がスポーツ施設をより快適に利用することができるよう、老朽化が進行している学校運動場の夜間照明設備についてLED化を進める。

成果指標



施策を推進する主な事業

1

事業名 担当課	【単独】体育施設整備事業費		スポーツ振興課	
成果指標	運動場の照明設備がLED化された学校数(校)			
目標値	15			
実績値	3			
達成率	20.0%			
成果指標・ 目標値の説明	学校運動場利用者のサービス向上及びゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みに結びつくことから、学校運動場照明設備のLED化率を成果指標とした。 運動場に照明設備を設置している学校数を目標値とした。			
事業目的	老朽化が進行している体育施設の整備を行うことで、利用者のサービス向上を図る。			
事業概要	老朽化が進んでいる学校運動場の照明設備について、ゼロカーボンシティの実現を図るため照明設備のLED化を行う。			
取組実績	【整備状況(R5年度)】 長崎商業高等学校テニス場照明設備改修工事 32,768,389円 (内訳) 投光器56台、誘虫器 6台、防犯灯2台			
	決算(見込)額		32,768,389	円

2	事業名 担当課	社会体育行事開催費		スポーツ振興課		
	成果指標	各種スポーツ・レクリエーションイベントへの参加者数(人)			 長崎ベイサイドマラソン	
	目標値	14,830				
	実績値	12,717				
	達成率	85.8%				
	成果指標・ 目標値の説明	イベントへの参加者数が増加することが、機会の充実につながるため、市主催のスポーツ・レクリエーションイベントへの参加者数を成果指標とた。 実績が高かった平成30年度実績(14,830人)を目標値とした。				
	事業目的	スポーツイベントを開催することにより、市民の健康増進とスポーツ人口の底辺拡大を図る。				
	事業概要	市民体育・レクリエーション祭や長崎ベイサイドマラソンなどの各種スポーツイベントを開催することにより、多くの市民に「する機会」を提供する。				
	取組実績	【R5年度参加人数】 ・はじめようスポーツ体験教室 1,507人 ・市民体育・レクリエーション祭 6,031人 ・長崎ベイサイドマラソン 4,041人 ・長崎新春駅伝 640人 ・地域スポーツ等 498人				
	決算(見込)額		31,295,835		円	

令和6年度 個別施策評価シート

個 別 施 策	G3-2	スポーツをみる機会の創出と競技者の支援を図ります	
2025年度に めざす姿	対 象	意 図	
	市民が	スポーツへの関心を高めるとともに、全国大会等において高い競技力を発揮している。	
個別施策主管課名	スポーツ振興課		

成果

① スポーツを通じた地域活性化

長崎市をホームタウンとするプロスポーツチームであるV・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカに対する市民の応援機運の醸成を図るため、ホームゲームに市内の小中学生と保護者ペアを招待することで、4,400人にトップレベルの競技を間近で見る機会を提供することができ、「みる」スポーツへの関心を高めることにつながった。

② 競技者の競技力の向上

市スポーツ協会加盟競技団体が実施する強化練習や遠征試合等の事業を対象とし、26団体に補助金の交付を行ったことにより、国体に向けた選手・監督の強化やジュニアスポーツの競技力の向上につながった。
また、子どもたちにスポーツへの関心を持ってもらうため、小学生以下の子どもを対象にスポーツ体験教室を開催することで、834名の参加があり、各競技の裾野を広げるきっかけづくりにつながった。

問題点とその要因

① スポーツを通じた地域活性化

令和6年10月の長崎スタジアムシティ開業を見据え、V・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカのホームゲームの応援機運を更に高めるための取り組みを行う必要がある。

② 競技者の競技力の向上

各競技団体において、計画的かつ継続的な育成がなされているものの、少子化の進行等により、競技人口や指導者が減少している。

今後の取組方針

① スポーツを通じた地域活性化

継続 ●令和6年10月の長崎スタジアムシティ開業を踏まえ、市民の応援気運を更に高めるため、V・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカのホームゲームへの招待事業を拡大し、「みる」スポーツを通じた、スポーツへの関心を高めるきっかけをつくる。
また、プロスポーツチームの応援気運を高めるため、長崎駅や浦上駅から長崎スタジアムシティまでの歩行者動線を「(仮称)V・ロード」として、のぼりやバナー等を設置し、環境整備を行う。

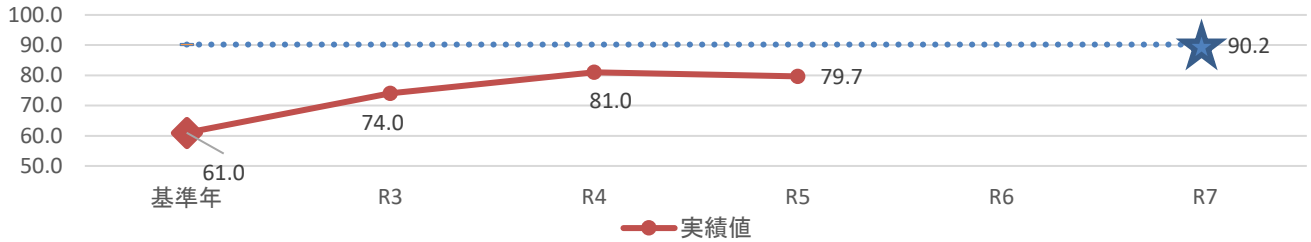
継続 ●サッカーやバスケット以外の種目についても、長崎県スポーツコミッションや関係団体等と連携しトップレベルの大会や合宿の誘致を図る。

② 競技者の競技力の向上

継続 競技団体等と連携し、ジュニア選手の強化を行うことなどにより将来的な高い競技力の実現を目指すとともに、新たにスポーツを始めるきっかけづくりにつながる、はじめようスポーツ事業を継続することでスポーツへの関心を高める。

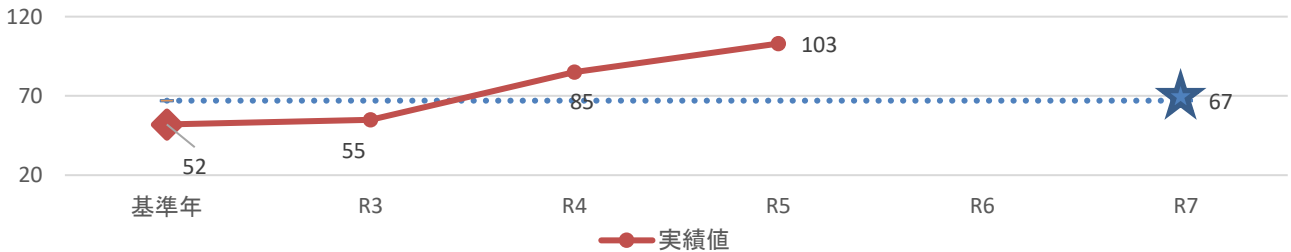
成果指標

指標名	基準値 (時期)	目標値	実績値					基準値 からの 傾向
			R3	R4	R5	R6	R7	
プロスポーツ応援事業におけるアンケートで、「今後招待がなくても観戦に行きたい」と回答した者の割合	61.0% (R元年度)	90.2% (R7年度)	74.0	81.0	79.7	0.0	0.0	▲



長崎スタジアムシティの開業に伴い、目標値を当初数値の1割増に見直した。82.0%⇒90.2%

指標名	基準値 (時期)	目標値	実績値					基準値 からの 傾向
			R3	R4	R5	R6	R7	
長崎市スポーツ表彰の受賞件数	52件 (R元年度)	67件 (R7年度)	55	85	103	0	0	▲



施策を推進する主な事業

事業名 担当課	プロスポーツ応援事業費		スポーツ振興課	
成果指標	プロスポーツの応援事業におけるアンケートで、「今後招待がなくても観戦に行きたい」と回答した市民の割合(%)			 V・ファーレン長崎招待事業
目標値	90.2			
実績値	79.7			
達成率	88.4%			
成果指標・ 目標値の説明	Jリーグ又はBリーグの応援事業におけるアンケートにおいて、「今後招待がなくても観戦に行きたい」と回答した市民の割合を成果指標とした。 過去のアンケートにおいて、最も割合が高かった平成30年度の数値(82%)の1割増を目標値とした。			
事業目的	市民がプロスポーツに触れる機会を増やすとともに、「みるスポーツ」を通して市民のスポーツへの関心を高め、市民が様々な形でスポーツに関わるきっかけをつくる。			
事業概要	V・ファーレン長崎、長崎ヴェルカのホームゲーム及び長崎で開催されるプロ野球公式戦に、小中学生と保護者のペアを招待する。			
取組実績	【招待者数(R5年度)】 ・V・ファーレン長崎 3,200人、・長崎ヴェルカ 1,200人、・プロ野球公式戦 800人			
	決算(見込)額		16,764,739	円

2

事業名 担当課	ジュニアスポーツ競技力向上対策費補助金		スポーツ振興課	
成果指標	長崎市スポーツ表彰の受賞件数			
目標値	88			
実績値	103			
達成率	117.0%			
成果指標・ 目標値の説明	受賞者(全国大会上位入賞者など)が増えることで、競技力が向上したと考えられるため、長崎市スポーツ表彰の受賞件数を成果指標とし。 過去3ヶ年で実績が高かった平成28年度実績(88人)を目標値とした。			
事業目的	ジュニア世代の競技力を向上させ、国体、全国高総体、中総体等の全国大会で優秀な成績を収めることを目指す。			
事業概要	小・中・高校生を対象に、公益財団法人長崎市スポーツ協会加盟の各競技団体が実施する強化合宿及び遠征試合等の事業に対し、補助金を交付する。			
取組実績	【令和5年度実績】14,487,760円(26競技)			
	決算(見込)額	14,487,760円		